

まえがき

今から約 10 年前に京都の会員から、古くは都の皇族や公家の別荘が点在していたまち梅津の梅宮大社を紹介して頂きました。

平成 27 年（2015 年）3 月 18 日に VG 槻輪「わがまち紹介活動」で参拝と散策をしました。

その後、会員も変わり嵯峨野のスポットとして再度梅のシーズンに参拝・散策することしました。

梅津神社の所在地は、京都市右京区梅津フケノ川町にあります。港から遠く離れているのに「津」がついた地名です。又町の名前「フケノ川」とカタカナの地名です。

猫神社として知られ、猫好き憧れの神社となっている「梅宮大社」。酒造の神と、子授け・安産の神様をご祭神に祀り、週末には、多くの参拝客が訪れ、神苑での景色を楽しんだり、のんびりと過ごす猫に癒されたりできる神社です。

格式ある本殿は江戸時代中期に再建されたもので、神聖な空気に身が引き締まります。

境内には、王朝時代の貴族の別荘を偲ぶ、3,000 坪という広大な敷地を誇る池泉式回遊庭園「神苑」があります。

庭園には四季折々の花が咲き京都でも屈指の名苑で、早春には梅の名所としても知られ、春から夏にかけて杜若（かきつばた）、花菖蒲、あじさいなどが次々と咲き乱れます。

「池中亭」入口には、下記写真のように、大納言源経信の一句を記した石碑が残されています。

茶席「池中亭」は嘉永 4 年(1851 年)建築、侘びた風情に心癒されます。

この感銘をみなさまに紹介したく、ガイドブックにしました。

